

今回のテーマは【ロジャーマイク】

今回は、話者の声を直接耳に届ける情報機器「ロジャーマイク」について勉強していきましょう。

本校でも、おなじみの「タッチスクリーンマイク」は、学校に合わせてメーカーさんが工夫して作られたものと聞いています。ですから、子どもたちや担任の先生方、そして保護者の方々が使いやすいように、接続、音量、マイクのON/OFF 不具合など スクリーンを操作することでわかりやすく、操作性が抜群です。送信機と受信機の距離が20m以内だったら、ほぼ音声を飛ばすことができる優れたものです。

では、このマイクを上手に使えていますか？ 首から上げると、その人の声をマイクが捉えます。



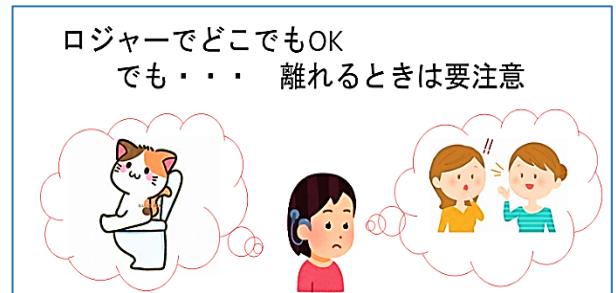
では、グループで話し合うときは？

ロジャーマイクをテーブルに置くことで、3つのマイクが広範囲の音を拾ってくれます。

(資料参照:フォナック)

便利なロジャーですが **注意事項** も。

電源が入っていると、ちょっと離れてトイレに行っても、子どもとちょっと離れておしゃべりする時も、机間巡視するときに他の子への声がけするときも、ロジャーマイクを通してみんな聞こえてしまいます。ON・OFF をしっかり使い分けることが大事ですね。



その他にも、リンクしているロジャーと補聴器等はお互い探してしまうので、とても電池を消耗してしまいます。20m以上も離れてしまうときは、電源を切ることも必要です。

また、首から上げていると忘れがちな ON・OFF。常に電源が ON になっていると、いかに指向性があってもマイクを通していろいろな音が子どもの耳に届いていることになります。必要な音も、そうでない音も。そのような状態がずっと続いていると、今聞こえている音が大事な音なのか、それとも不要なものなのか分かりにくいため、「聞く耳」を持たなくなってしまいます。

便利なロジャーですが、効果的に使って欲しいものです。

最後は、お子さんの成長に伴って **ロジャーも 進化する！** です。

とても便利なロジャーマイクですが、必要なのは誰でしょうか？ それは、聞こえが必要な本人です。

必要な音を、必要な場面で取り込めるように、自分でマイクを操作することができるようになります。そのためにも、お子さん自身が使いやすいロジャーマイクにしていくことが大事です。

発達段階に応じた支援やロジャーについてのご相談は、本校教育支援部まで！！

例えば

ロジャーペン

携帯電話やテレビにも接続可能な、

ペン型ワイヤレスマイクです。

小型で、自分で欲しい音をとること

ができるので、中学生あたりから

使用する場合があります。

